岩手県立久慈工業高等学校　校報

スピリッツ

久慈工魂

生徒の輝く姿が見える楽しい学校

No.９　令和４年８月 24 日（水）

大阪大学等による講座「地域未来学」は、７月に開講していますが、電子機械科では、地域産業講座も開催しています。地域産業講座の講師は、県北地域にある企業（工場）の経営者や技術者の皆さんです。

四国インターハイ

令和４年度全国高等学校総合体育大会「躍動の青い力 四国総体　２０２２」が、徳島県を中心に四国地方など５県で開催されました。愛媛県が会場となった、ウエイトリフティング競技大会には、本校の建設環境科３年四役颯真君が、２年連続で出場しました。

ウエイトリフティング競技は、オリンピックでの歴史も古く、規定２種目（スナッチ、クリーン＆ジャーク）及びトータルで順位が決定され、スナッチ・クリーン＆ジャークとも、試技は３回です。インターハイ男子は、体重別に９階級が設定されています。

８月６日の競技では、積み重ねてきたスピードやテクニック、パワーなどのパフォーマンスを発揮して、スナッチ 94kg、クリーン＆ジャーク 117kg、トータル 211kg を記録し、73kg 級で 15 位となりました。

四国総体を終えて、四役颯真君は「最後のインターハイで、入賞できませんでしたが、良い経験ができました。今後は、国体で入賞できるよう頑張りたいと思います。」と新たな目標を見据えていました。

電線資材受贈式

一般住宅等の電気工事に従事できる第二種電気工事士試験を、電子機械科の３名が受験します。岩手県電気工事業工業組合久慈支部から、実技試験の練習に必要となる電線等の資材を寄贈していただきました。

講座：地域未来学

講座「地域未来学」第２回は、８月 24 日に開催されました。大阪大学人間科学部山田一憲講師のほか、大学院生４名にも来校していただきました。講義のテーマは「農産物被害によって生じるニホンザルと人間の対立について」です。

講義の中で「群れの上下関係が厳しいとされるニホンザルの生態」や「岩手県内での生息数減少による絶滅の危惧」、「ニホンザルによる農作物の被害対策と活力ある地域づくりとの密接な関連」などについて、説明していただきました。